

Opinion survey

高齢期に関する意識調査

グッドタイムリビング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：森川 悦明）は、高齢期に向けた資産形成や介護に対する意向を探るため、全国の40代以上の男女1,300名を対象に「高齢期に関する意識調査」を実施しました。本調査は、2008年から毎年実施（旧「介護に関する意識調査」）しており、今回で12回目となります。

調査概要

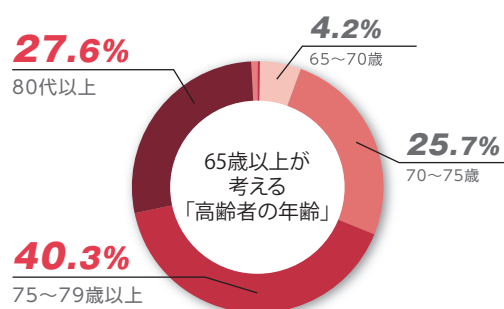
調査方法：インターネットリサーチ（調査協力会社：楽天インサイト株式会社）
対 象：全国の40代以上の男女1,300名（男性 825名、女性 475名）
実施期間：2019 年11 月14 日（木）～17 日（日）、11 月 24日（日）

……Topics ……

- ・「2025年問題」について、**内容を理解していない、知らないが 7割**

高齢期が、高年齢化？

- ・65歳以上の **68%** が
高齢者の年齢を、**75歳以上** と回答



老後に必要なお金、本当に足りますか？

- ・実際にあれば安心な老後の貯蓄額は、**平均2,000～3,000万円**

ただし、保有金融資産が増えるほど **老後に必要な貯蓄は増加傾向**

パートナーの介護、男女で意識のギャップが明らかに

- ・「配偶者を介護したいか」について、男性の **69%** が「したい」
女性の **55%** が「したくない」

女性は自宅に拘らず！

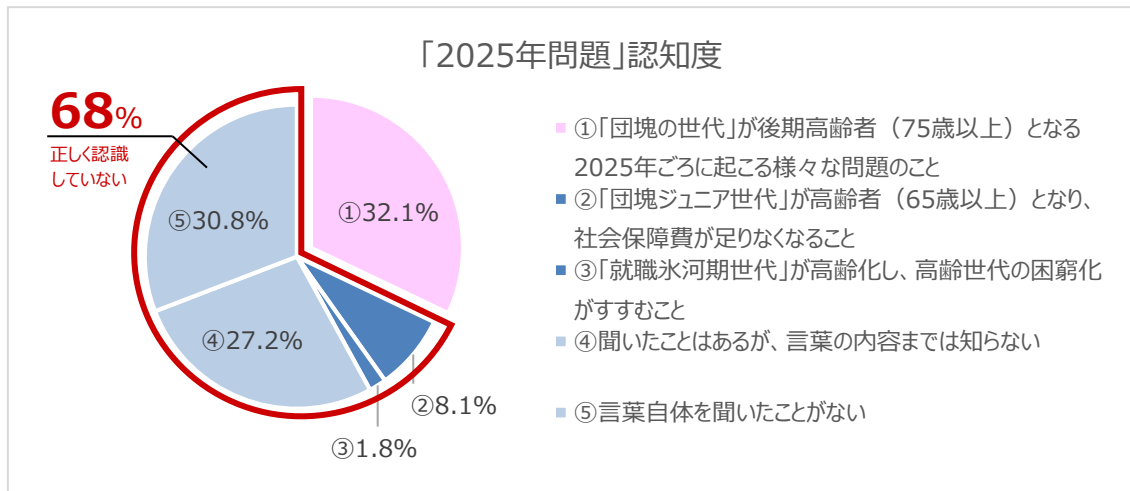
- ・介護が必要になった場合、女性の **47%** が **高齢者向けの住宅** を選択

グッドタイムリビング
大和証券グループ

＜本件に関するお問い合わせ先＞ グッドタイムリビング株式会社 経営企画部 ブランド戦略課
広報担当 関東：加藤・都築 03-5439-2212 関西：廣田 06-6448-7555

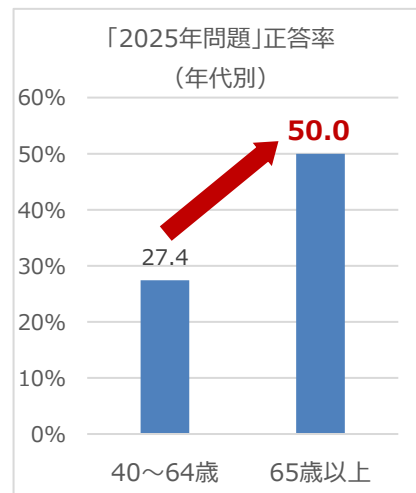
1. 「2025 年問題」について

Q. あなたは「2025 年問題」という言葉の内容をご存じですか（単一回答）



「2025 年問題」を正しく認識した人は、①を選択した 32%にとどまった。その他、不正解の②③と「④聞いたことはあるが、言葉の内容までは知らない」と「⑤言葉自体を聞いたことがない」という回答を合わせて、正しく認識していない人が 68%にのぼり、差し迫った問題として浸透していないことがわかった。

また、全体として認識は薄いものの、年齢別の比較ではリタイア層（65 歳以上）の正答率が現役層（40～64 歳）に比べて高く（27%→50%）、自身が「団塊の世代」またはそれに近いことから「2025 年問題」を自分事として捉えている様子がうかがえる。

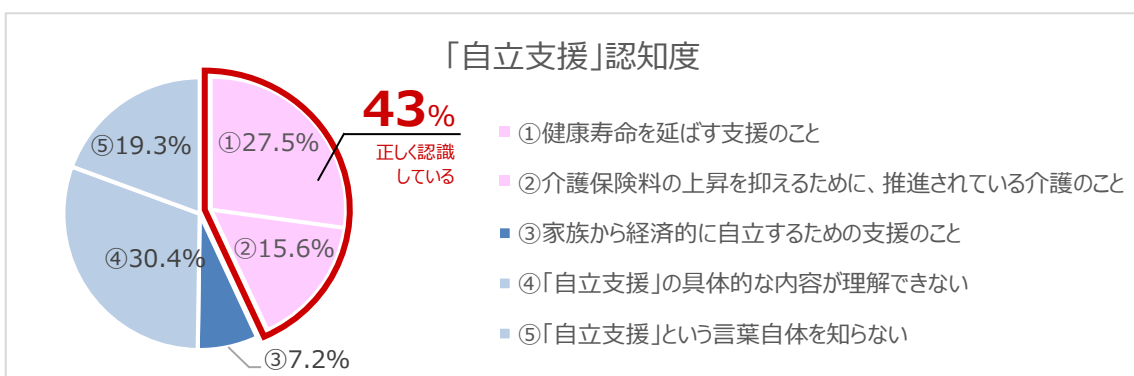


※②、③は 1971～74 年生まれの「団塊ジュニア世代」や 1971～84 年頃生まれた「就職氷河期世代」（ともに現在 40 代前後）が高齢者（65 歳以上）となる頃を指す「2040 年問題」である。

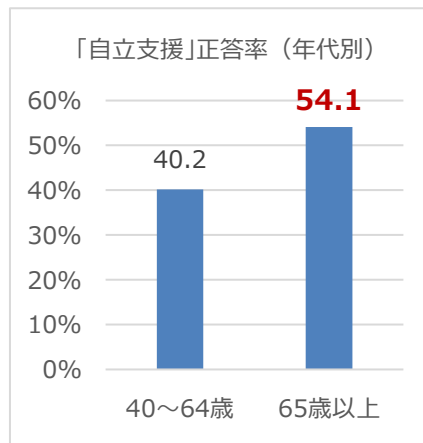
※厚生労働省が推奨する定年年齢である「65 歳」を区切りとして、本調査では 40～64 歳を現役層、65 歳以上をリタイア層とする。

2. 自立支援について

Q. 政府の戦略である「健康寿命延伸」のなかで、自立支援に軸足を置いた介護を進めていくとあります。あなたは自立支援の言葉の内容をご存じですか（単一回答）

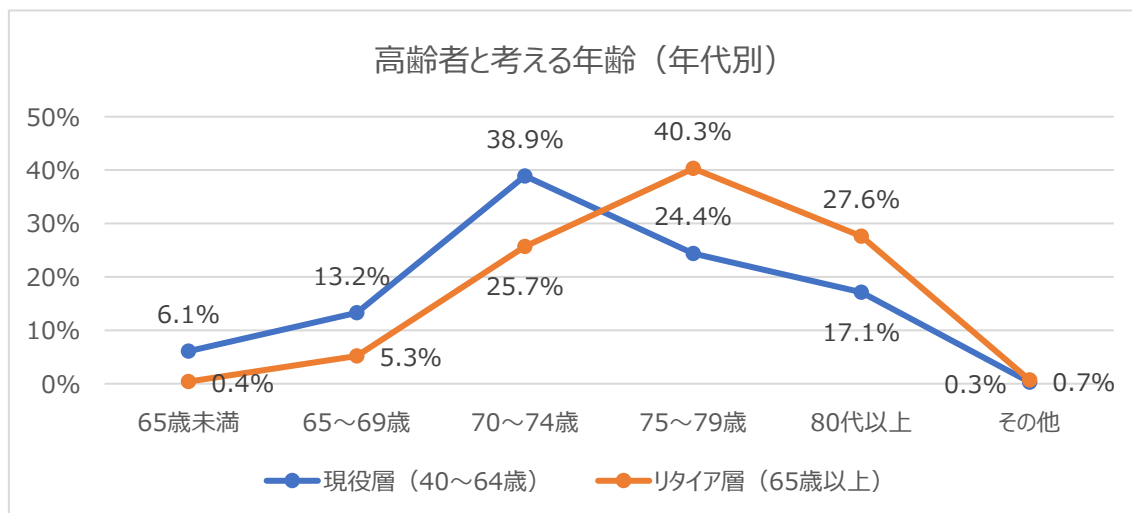
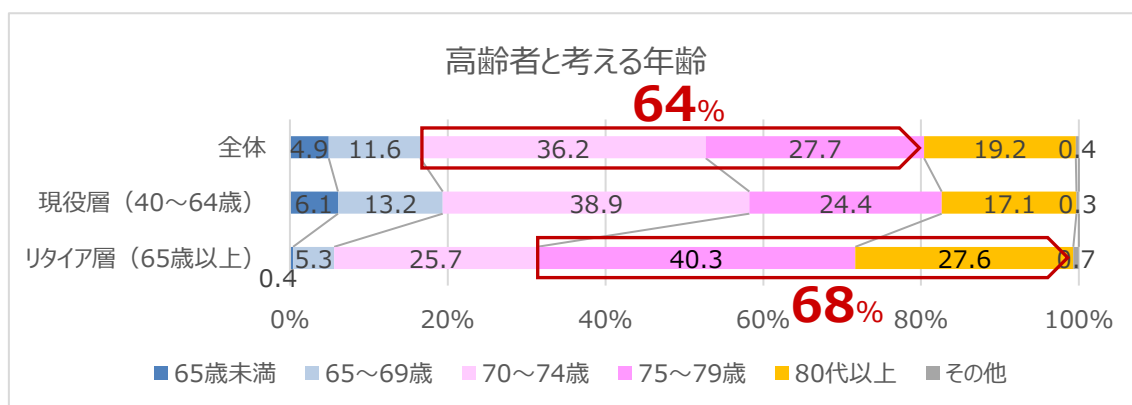


「①健康寿命を延ばす支援」「②介護保険料の上昇を抑えるために推進されている介護」と正しく認識している回答は全体の 43%であった。65 歳以上の正答率が 5 割（54%）を超えた要因として、健康寿命の延伸が求められるなか、介護や自立支援を身近な問題として認識していることが推察される。



3. 高齢者の定義について

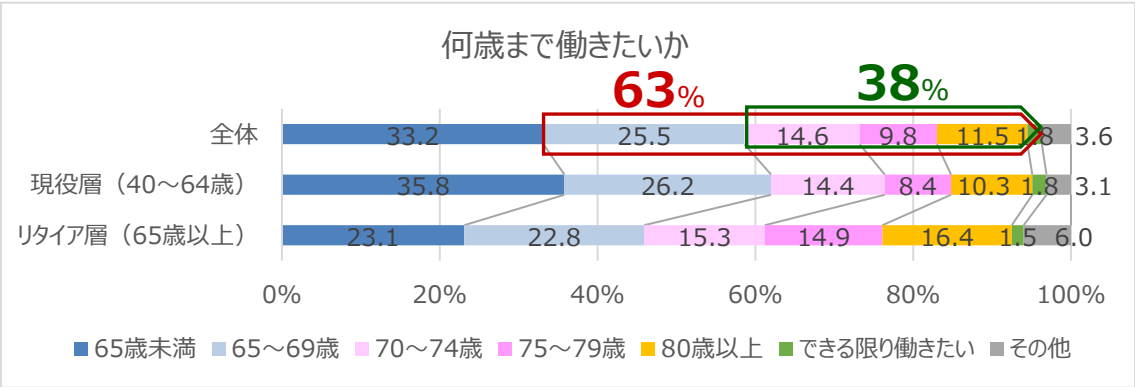
Q. あなたにとって「高齢者」とは何歳以上だと思いますか（単一回答）



世界保健機関（WHO）では 65 歳以上を高齢者と定義しているが、本調査では「高齢者」と考える年齢について「70 代」という回答が全体の 64%だった。特にリタイア層（65 歳以上）は「75 歳以上」という回答が 68%あり、年齢があがるごとに高齢者とする年齢も上昇する傾向がみられた。

4. 高齢者の就労について

Q. あなたは何歳まで働きたいですか（単一回答）



(%)

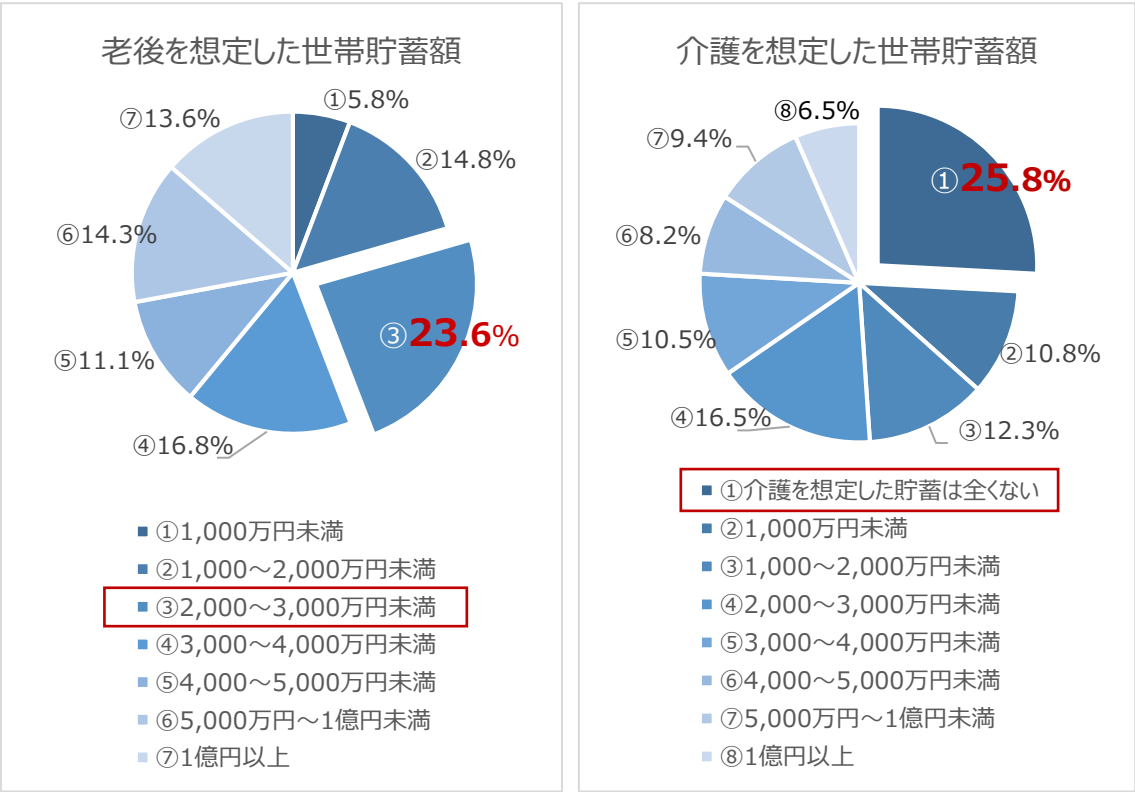
	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80代以上	できる限り働きたい	70歳以降も働きたい・計	その他
全体	33.2	25.5	14.6	9.8	11.5	1.8	37.7	3.6
現役層（40～64歳）	35.8	26.2	14.4	8.4	10.3	1.8	34.9	3.1
リタイア層（65歳以上）	23.1	22.8	15.3	14.9	16.4	1.5	48.1	6.0

全体の 63%が 65 歳以降も働きたい、また 38%が 70 歳以降も働きたいと答えた。また「70 歳以降も働きたい」という回答は、現役層（40～64 歳）は 35%、リタイア層（65 歳以上）は 48%と約 13%の差が出た。

5. 老後の世帯貯蓄額について

Q. 実際にあれば、老後は安心だと思う世帯貯蓄額を選択してください（単一回答）

Q. 老後のための貯蓄額の中で、ご自分に介護が必要になった場合を想定した世帯貯蓄額を選択してください（単一回答）



<老後を想定した世帯貯蓄額>

(%)

		老後を想定した世帯貯蓄額						
		1,000万円未満	1,000～2,000万円未満	2,000～3,000万円未満	3,000～4,000万円未満	4,000～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円以上
保有している金融資産	1,000万円未満	12.5	22.8	23.5	11.4	8.5	11.4	9.9
	1,000～3,000万円未満	3.1	17.5	28.4	19.5	12.0	12.5	7.0
	3,000～5,000万円未満	0.0	2.4	19.5	18.4	20.7	24.1	14.9
	5,000～7,000万円未満	0.0	5.1	7.7	15.4	10.3	41.0	20.5
	7,000万円～1億円未満	0.0	3.2	9.7	12.9	6.5	38.7	29.0
	1億円以上	0.0	0.0	7.1	3.6	0.0	17.9	71.4
	わからない	6.6	12.2	23.4	18.7	11.0	11.5	16.6

<介護を想定した世帯貯蓄額>

(%)

		介護を想定した世帯貯蓄額							
		1,000万円未満	1,000～2,000万円未満	2,000～3,000万円未満	3,000～4,000万円未満	4,000～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円以上	介護を想定した貯蓄は全くない
保有している金融資産	1,000万円未満	22.4	13.6	11.8	8.1	4.8	8.1	4.4	26.8
	1,000～3,000万円未満	10.1	19.2	24.8	13.9	8.2	7.2	4.8	11.8
	3,000～5,000万円未満	2.4	13.8	17.2	13.8	20.7	17.2	5.7	9.2
	5,000～7,000万円未満	0.0	0.0	17.9	15.4	15.4	30.8	7.7	12.8
	7,000万円～1億円未満	0.0	6.5	9.7	16.1	9.7	19.3	25.8	12.9
	1億円以上	0.0	3.6	0.0	7.1	3.6	25.0	53.6	7.1
	わからない	8.1	6.6	12.6	7.5	7.3	7.0	5.2	45.7

<老後・介護を想定した世帯貯蓄額 比較>

(%)

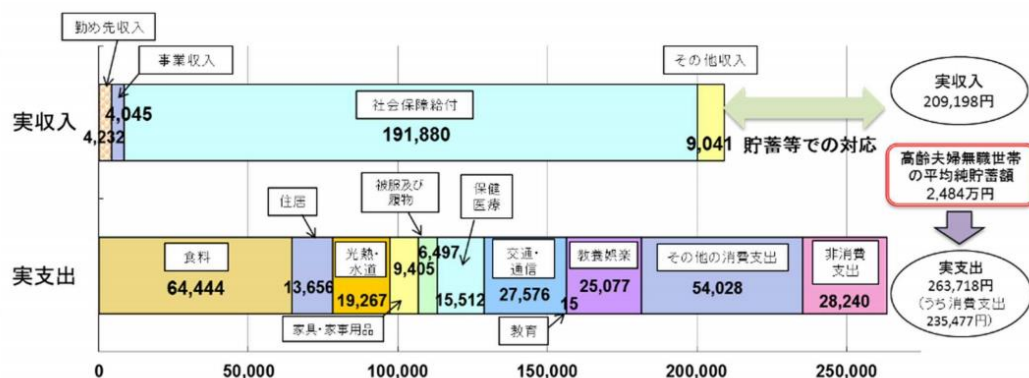
		介護を想定した世帯貯蓄額							
		1,000万円未満	1,000～2,000万円未満	2,000～3,000万円未満	3,000～4,000万円未満	4,000～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円以上	介護を想定した貯蓄は全くない
老後を想定した世帯貯蓄額	1,000万円未満	53.3	5.4	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	38.7
	1,000～2,000万円未満	17.7	35.9	20.4	2.6	0.0	0.5	0.0	22.9
	2,000～3,000万円未満	10.6	15.0	36.8	12.1	3.3	1.0	0.0	21.2
	3,000～4,000万円未満	5.9	7.8	15.5	29.2	15.1	3.2	0.0	23.3
	4,000～5,000万円未満	6.9	6.4	9.0	9.0	34.0	14.6	0.7	19.4
	5,000万円～1億円未満	3.9	5.9	5.9	4.8	4.8	41.9	9.1	23.7
	1億円以上	1.6	2.2	1.7	5.1	2.3	6.8	37.9	42.4

老後を想定した世帯貯蓄額について、中央値は「2,000～3,000万円」 **平均 38%**

(24%) となり「(夫婦で) 老後 2,000 万円」問題報道の影響を感じさせる結果となった。また現在保有する金融資産に比例して、老後を想定した貯蓄額も上昇する傾向があった。一方で、自身に介護が必要になった場合を想定した世帯貯蓄額については「全くない」が全体の 1/4 (26%) を占めた。さらに「老後を想定した世帯貯蓄額」と「介護を想定した世帯貯蓄額」を比較すると、本来「(夫婦で) 老後 2,000 万円」とする見積りに介護費用は含まれていないにも関わらず「老後」「介護」をそれぞれ同額とする回答が平均 38% あった。

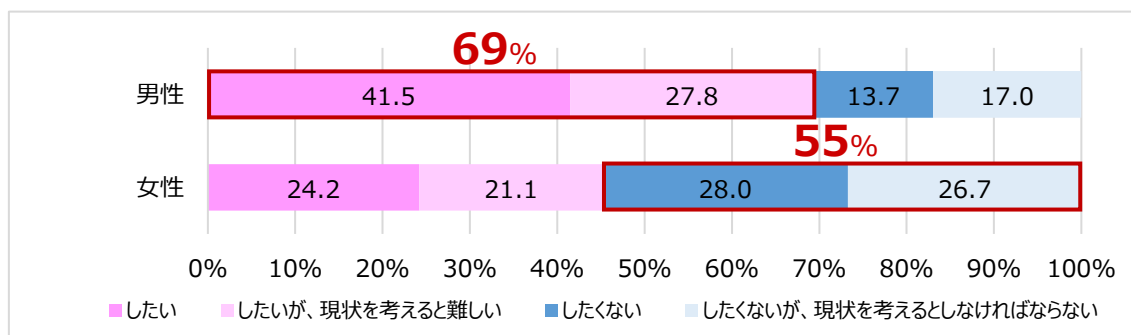
<参考> 出典：金融審議会「市場ワーキング・グループ」(第 21 回) 厚生労働省資料

【高齢夫婦無職世帯(夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの無職世帯)】

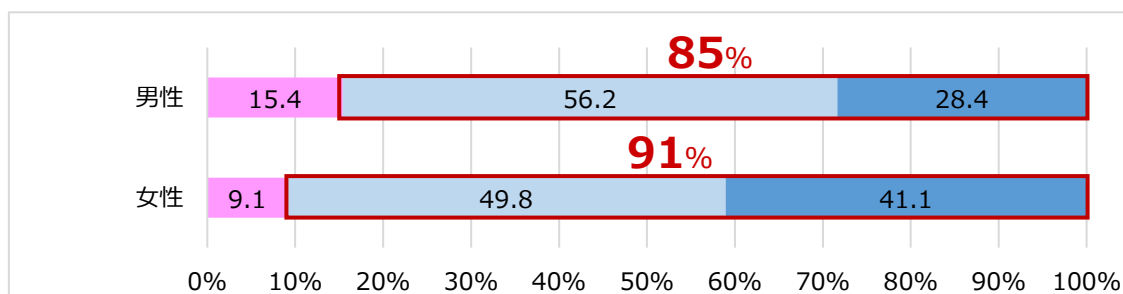


6. 自身と配偶者の介護について

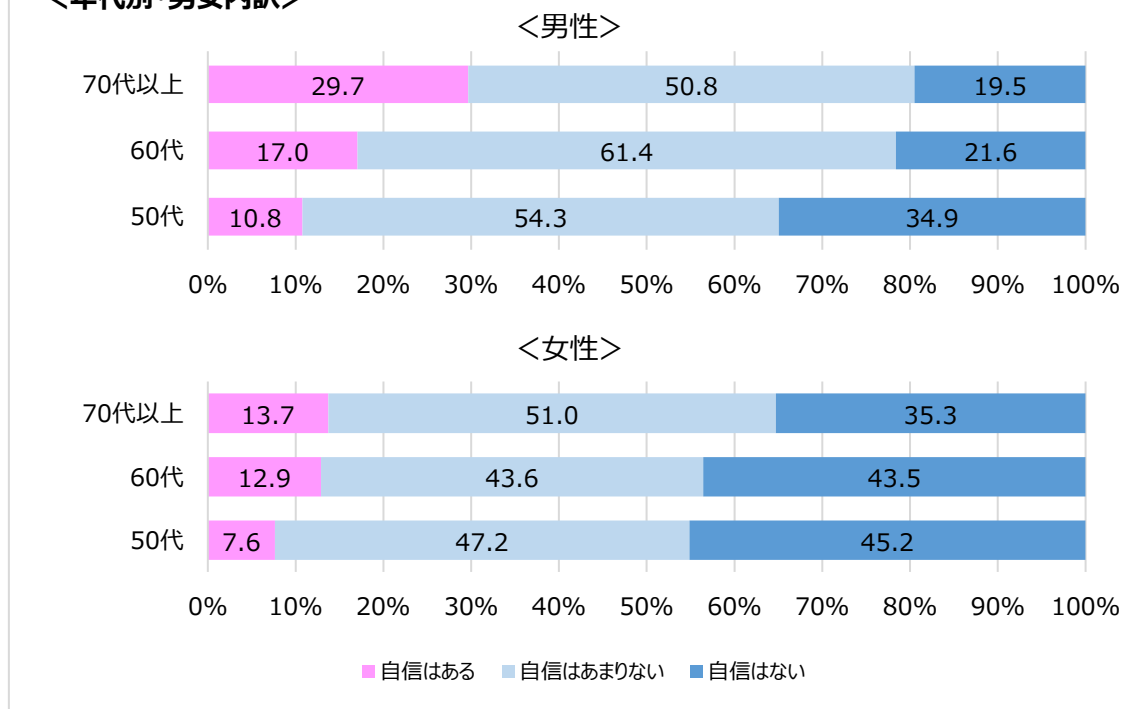
Q. 配偶者を介護したいと思いますか（単一回答）



Q. 配偶者を介護できる自信はありますか（単一回答）



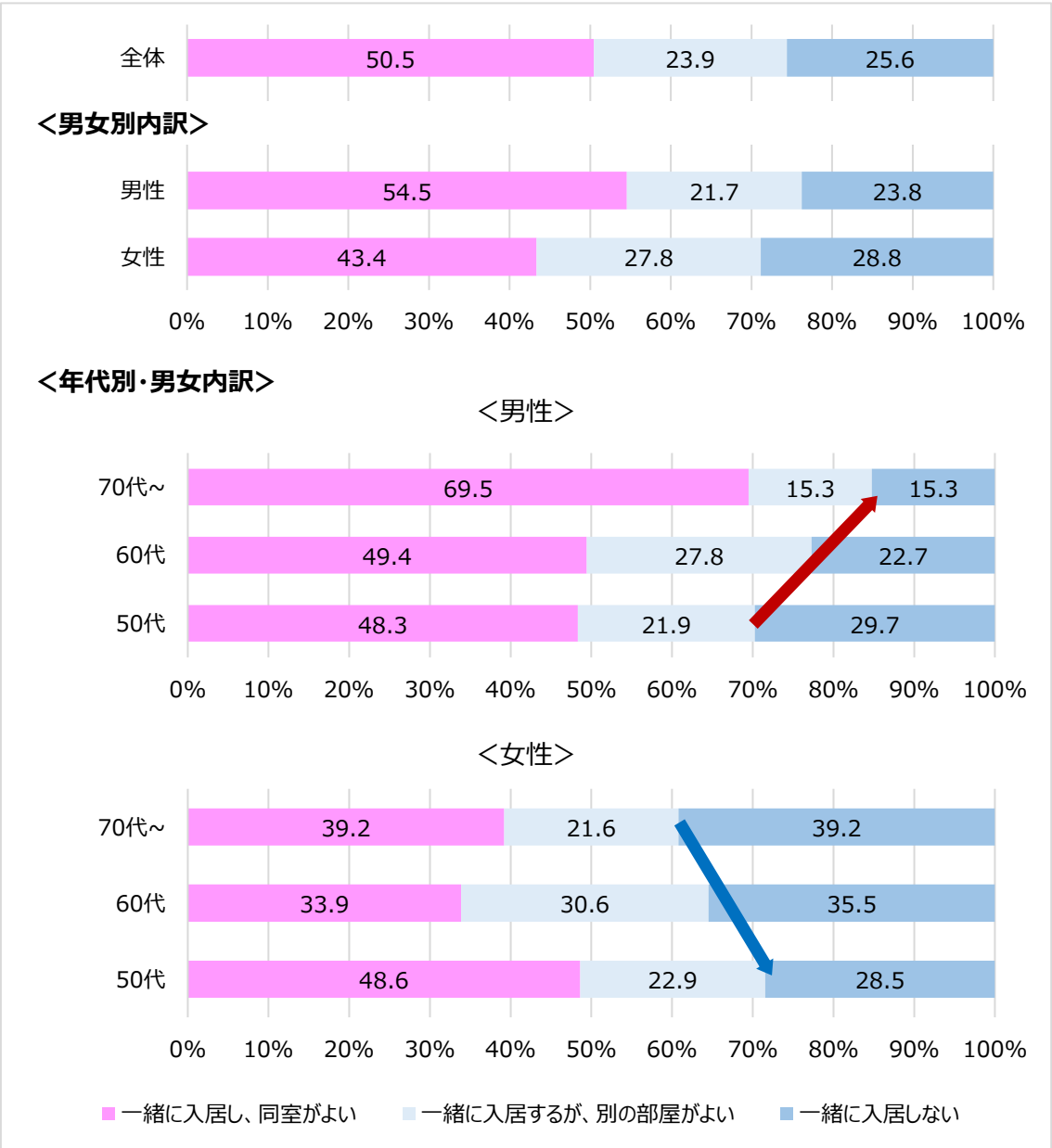
<年代別・男女内訳>



男性の69%が「配偶者を介護したい」と回答したのに対し、女性の55%が「配偶者を介護したくない」と回答、男女で逆転する結果となった。

「配偶者を介護する自信」について男性は「自信はない」「自信はあまりない」を合わせて85%、女性はそれを上回る91%が消極的な回答となった。また他の年代に比べて「自信がある」という回答の多い70代でも男性は30%、女性は14%にとどまり、年齢が上がり介護が身近になるにも関わらず「自信がない」という回答が大多数を占めた。この結果から特に男性は、介護をしたい気持ちは高いものの理想のみが先行していることがうかがえる。

Q. 夫婦のどちらかが介護が必要になった場合、高齢者住宅と一緒に入居しますか。
その場合、同室を希望しますか（単一回答）

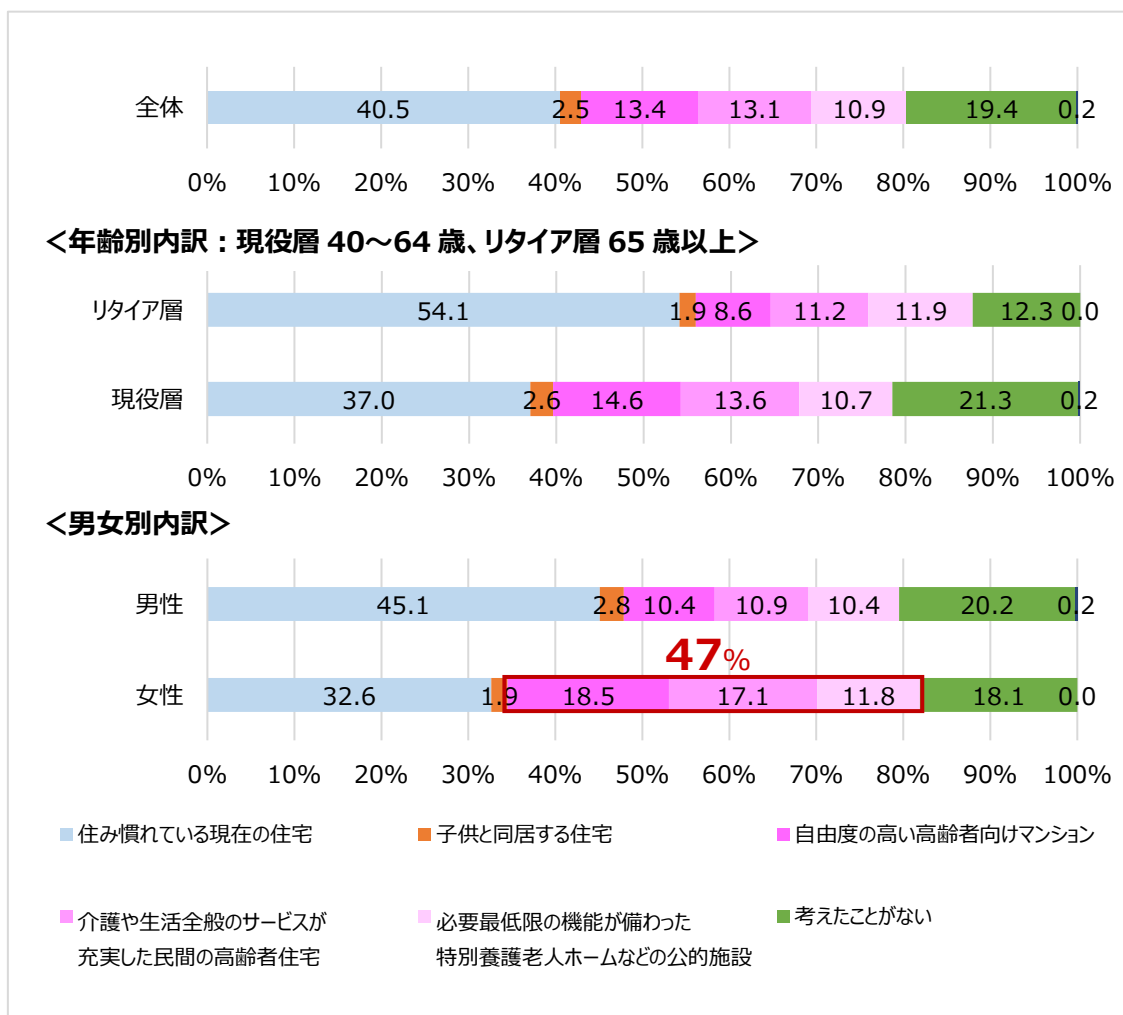


			夫婦のどちらかが介護が必要になった場合、 高齢者住宅と一緒に入居しますか		
			一緒に入居し、 同室がよい	一緒に入居するが、 別の部屋がよい	一緒に入居しない
			50.5	23.9	25.6
%					
配偶者を介護したいと思いますか	したい	35.2	71.8	16.8	11.4
	したいが、現状を考えると 難しい	25.4	56.4	23.0	20.6
	したくない	18.9	16.7	29.6	53.7
	したくないが、現状を考え るとしなければならない	20.5	37.9	31.8	30.3

			夫婦のどちらかが介護が必要になった場合、 高齢者住宅と一緒に入居しますか		
			一緒に入居し、 同室がよい	一緒に入居するが、 別の部屋がよい	一緒に入居しない
			50.5	23.9	25.6
自信はありますか	配偶者を介護できる 自信はありますか	%			
	自信はある	13.1	70.0	17.6	12.4
	自信はあまりない	53.9	58.5	25.5	16.0
	自信はない	33.0	29.6	23.8	46.6

全体の51%が「一緒に入居をして同室を希望」し、介護施設に入居後も夫婦一緒にいたいという思いが感じられる結果となった。しかし、男女別にみると男女とも大きく差はないが、男性は年代が上がるにつれて「一緒に入居しない」という結果が減少するのに対して、女性は年代が上がるにつれて「一緒に入居しない」という回答が増加。男女による意識の違いが出る結果となった。また「配偶者を介護したくない」「介護する自信はない」と回答したうち、双方ともに「一緒に入居しない」が半数となるなど「介護したくない」「自信がない」人は、介護を人に任せたい傾向がみられた。

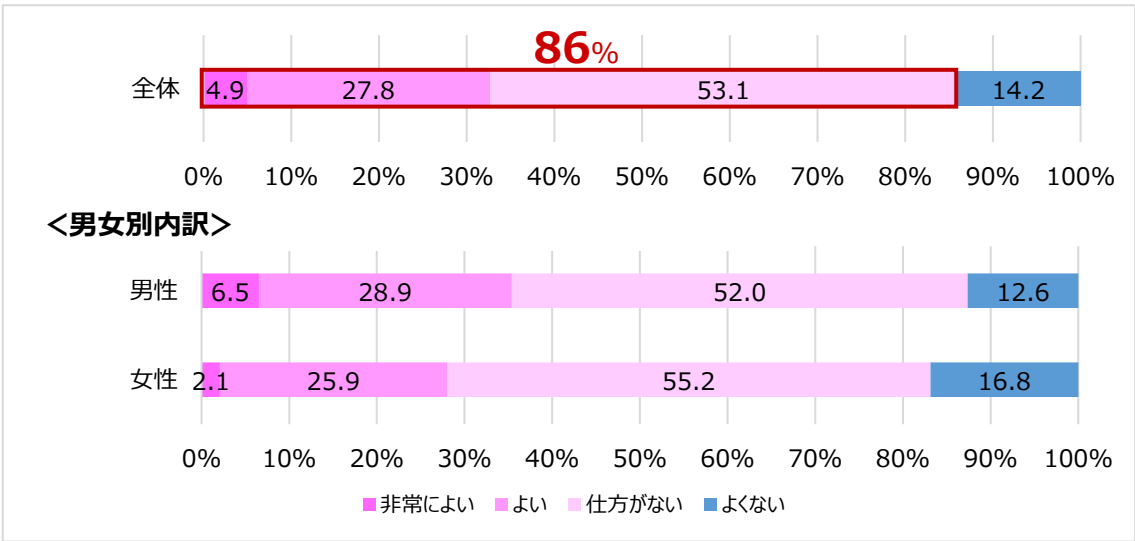
Q. あなたは、介護が必要になった場合、どこで暮らしたいですか（単一回答）



「介護が必要になった場合どこで暮らしたいか」に対し、全体で41%が「住み慣れている現在の住宅」と回答、年代別では65歳以上のリタイア層で半数以上の54%となり、64歳以下の現役層の37%を大きく上回った。また男女別には、男性の45%が「住み慣れている現在の自宅」と回答したのに対し、女性の47%が自宅以外の高齢者向け住宅を希望していることから、女性は自宅に拘らず、その時の身体状況に適した住まいを選ぶ傾向が見られた。さらに「子供と同居する住宅」は全体で最も低い3%となり、介護は子供に迷惑をかけずに自身で解決する問題と捉えていることがうかがえた。

7. 外国人による介助について

Q. ご自身やご家族が介護を受ける際、外国人による介助について、どのように思いますか
(単一回答)



			前問でそれぞれの回答を選択した理由を選択してください(複数回答)						
			グローバル化が進み、国籍・人種を問うような時代ではなくなったから	人材不足の解消になるから	意欲が高く、トレーニングされていると思うから	言葉の違いがあり、コミュニケーションに不安があるから	介護技術を含め、教育が行き届いているか不安があるから	日本人の方が細やかな気配りができそうなので、介護は日本人にしてほしい	その他
			%						
ご自身やご家族が介護を受ける際、外国人による介助について、どのように思いますか。(単一回答)	非常によい	4.9	67.2	17.2	9.3	1.6	1.6	1.6	1.5
	よい	27.8	61.5	21.3	13.6	0.8	0.3	2.2	0.3
	仕方がない	53.1	33.7	38.9	2.9	13.7	2.7	7.5	0.6
	よくない	14.2	8.2	3.8	1.6	42.9	5.4	37.0	1.1

外国人による介助について「非常に良い」「良い」「仕方がない」を合わせて、全体の86%が肯定的に回答。また、受け入れの理由について、世の中のグローバル化や、現在介護業界で課題となっている人材不足の解消につながるのではという回答が多く外国人による介護を肯定的に捉える結果となった。

8. ロボットによる介助について

Q. 厚生労働省と経済産業省が「ロボット技術の介護利用における重点分野」を策定し、その開発・導入を推進していますが、ご自身やご家族が介護を受ける際、ロボットによる介助について、どのように思いますか（単一回答）

Q. あなたやご家族が介護を受ける立場になった場合、どのようなロボットを使いたいですか（複数回答）

			あなたやご家族が介護を受ける立場になった場合、 どのようなロボットを使いたいですか【1位～3位合計】(複数回答)					
			ト ニ 会 話 が で き る コ ミ ュ ニ ケ シ ョ ン ロ ボ ッ ト	介 護 さ れ る 人 の 身 体 の 動 き を サ ポ ー ト す る 補 助 ロ ボ ッ ト	介 護 す る 人 の 身 体 負 担 を 軽 減 す る 補 助 ロ ボ ッ ト	身 体 介 助 以 外 (掃 除・洗 濯等) の 日 常 生 活 支 援 ロ ボ ッ ト	見 守 り セ ン サ ー	そ の 他
ご自身やご家族が介護を受ける際、 ロボットによる介助について、 どのように思いますか(単一回答)	ロボットは気を遣わないので、受けたい	32.5	223	353	349	226	81	0
	本当は人の手がいかがい気遣うので、受けたい	29.1	189	326	308	213	78	0
	ロボットの方が安心・安全そうなので、受けたい	7.4	57	77	72	51	27	0
	人の手で介護されたいので、受けたくない	12.3	74	111	119	84	68	0
	ロボットは冷たいイメージがあるので、受けたくない	5.8	37	51	63	33	30	2
	ロボットは安心・安全に思えないので、受けたくない	12.9	68	103	125	110	76	8

69%

ロボットによる介助に
肯定的な回答

ロボットによる介助について「受けたい」という回答が全体の69%となり、ロボットによる介護を肯定的に捉えていることがうかがえる。

また「どのような介護ロボットを使用したいか」という問いに対して、肯定派は「介護される人」の動きをサポートするロボットを、否定派は「介護する人」をサポートするロボットを選択する傾向がみられた。ロボットによる介助に対して否定的な人も「介護する人」をサポートするロボットであれば、使用してもよいと考えていることがわかった。

■グッドタイムリビング株式会社 会社概要

本 社：東京都港区芝 2 丁目 2 番 15 号

設 立：2005 年 4 月 1 日

事業内容：

- (1) 有料老人ホーム、高齢者向け賃貸住宅等の運営
- (2) 上記施設で必要とされる生活支援関連サービスの提供
- (3) 介護サービスの提供
- (4) (1) ～ (3) に付随、関連する各種サービス